

# 園長先生 だより

vol.25

2025年1月21日

学校法人 公文学園 のびてゆく幼稚園  
園長 佐藤 弘之

## 「かるた会」のねらいとは？

今週は年少さんと年中さんは「かるた会」に取り組みます。「かるた会」に向けてお家で練習をしていたお子さんもいたとお聞きしています。当日、子どもたちの白熱した様子が楽しみです。かるた遊びは、私たちの時代、お正月の遊びとして楽しんでいましたが、今どきはテレビゲームなどを楽しむご家庭が増えているのでないでしょうか。

かるた遊びで伸びる力として、教育評論家の親野智可等先生は次のように示しています。

### ① 集中力②判断力③瞬発力④空間認知力⑤記憶力⑥協調性⑦社会性⑧コミュニケーション力

読み札を聞く「集中力」、どの絵札かを瞬時に選び取る「判断力」や「瞬発力」、絵札がどこにあるかさがして絵札に手を伸ばす「空間認知力」、絵札の位置を覚えるあるいはことばを聞いて覚えた絵札を取る「記憶力」が伸ばせます。また、複数で遊ぶことになるので、けんかにならないように相手に譲ったり歩み寄ったりといった「協調性」や「社会性」、「コミュニケーション力」が育つことも期待できます。

そして、のびてゆく幼稚園で使用しているかるたは、いわゆる「いぬ棒かるた」です。

「い」**犬も歩けば棒に当たる**・「ろ」**論より証拠**・「は」**花より団子**、というように、文句は基本的にことわざです。子どもたちは、意味がよくわからなくても、繰り返し耳にするうちに文句を覚えてしまいます。何かの折に、ふとことわざが浮かび、なるほど、そういうことだったのか、という経験をしてほしいと願っています。



学校法人 公文学園  
のびてゆく幼稚園



©えんちょうせんせい